

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	第二回松本町大作戦					
実施団体名	松本町大作戦実行委員会					
事業概要	<p>今治市の中心地で商いを営む者が多い私たちは常に考えていることがある。「どうにかしてもう一度今治の中心地に人を呼ぶことができないのか?」と。しまなみ海道の開通によりフェリーの運航が激減した港。それに伴い、賑わいがなくなった商店街。郊外の大型スーパーや中心地から離れた幹線道路。中心地のシンボルだった今治大丸の撤退など、賑わいが減った理由を挙げるとキリがないが、「中心地に人を集める為にやれることからやろう」という想いのもと、昨年第一回松本町大作戦を開催した。本会が当事業を来年以降も継続し、毎年少しずつでも今治の中心地に足を運んでもらうことで、新しい店舗の発見や中心地の利便性を再認識してもらい、今治の中心地に人々を呼び戻す事を目的とする。</p> <p>快晴に恵まれた令和元年8月4日午前11時から午後8時まで、どんどび芝っち広場で入場無料で本事業を開催。当日は22店舗の屋台と6台のキッチンカー、5つのバンドと6つのダンスチームが参加。司会進行は吉本興業のひめころんにお願いした。会場中心には日よけのテントを設置し、それを囲むように屋台を並べ、花火が上がる時間まで楽しんでもらえる内容にした。</p>					
事業の発展性	<p>次回開催に向け現在協議が上がっているのは、今回日曜日の1日開催だったのを、次回は土日の2日間開催にすること。まだ課題が多いため計画段階であるが、実現に向け進めていきたい。そして今回より一人でも多くの人に来場してもらえる内容にして、ひいては今治の中心街に多くの人に足を運んでもらえる事業にしたい。</p>					
補助額	市補助額	500,000	総事業額	1,782,027	補助対象経費	1,055,294
コメント	実施団体	<p><事業を実施しての効果> おんまく夢花火の当日は、従来キハラパーキング行っていたような屋台村がなかった為、朝から多くの人たちが芝っち広場に集まった。バンドの演奏者はダンスチームやその父兄、お祭りの雰囲気の中で屋台を楽しむ人たちなど、本当に多くの、そして幅広い年齢の人に楽しんで頂けたと感じている。今治市民はもちろん、市外県外から来た人たちが会場を拠点として商店街や港の方にも足を運んでいただいたのも良い結果の一つ。そして大丸跡地という今治中心街の象徴的建物があった場所が人々でにぎわっていたというのが本事業において重要だと感じた。</p> <p><事業を実施しての問題点> 会場が真夏の屋外ということで、特に注意したのが来場者の日よけ対策であった。5.4M×3.6Mのテントを12張りとし水蒸気を放出するミストファンを設置した。そして会場内の屋台の軒先にも可能な限り日陰を作ったことにより来場者の方々には直射日光を浴びることなく会場を楽しんでいただけたと感じている。しかし日陰の範囲もテント12張りでは十分ではなく、次回は予算組みを考えた上でもっと効果的な日よけを考えなければならないと感じた。また、来場していた女児1名が音酔いによる嘔吐をし、その対応不足が次回の課題となった。他に懸念していた音や排水に関する苦情やトラブルもなく、近隣の郵便局や飲食店などには会場の管理会社を交え事前に事業開催の了承も確認していたので、スムーズに事業を終えることができた。今回、来場される方々の道路横断などに対する安全面での警備員は配置していなかったが、次回の配置については前向きに検討したい。</p> <p><問題点に対する解決策> 上記でも触れたとおり、日よけ対策はテントなどにリース代金が発生するので、次回もしっかりした予算組みで取り組みたい。また熱中症などの体調不良者への救護体制も確立させたい。</p>				
	市民活動推進委員	<p>(1) 公益性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の期待は大きく、波及効果がある。 ・多くの集客が見込めるイベントであり、今治市の活性化につながるものである。 ・たくさんの参加者があり今治市の中心という事で公益性も高い。 <p>(2) 自発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱意があり、次回も参加したい。 ・おんまく2日目の賑わいを創出し、中心市街地を活性化させることができた。 ・多くの人が集まるイベントの企画運営を十分こなしている。 ・代表を中心に委員会が積極的に動いていた。参加者が多く大変なことも多かったと思うが問題点もしっかり見て解決策も考えている。 				

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	第二回松本町大作戦
実施団体名	松本町大作戦実行委員会
コ メ ン ト	<p>(3) 費用対効果及び継続性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金が無くても継続してやってほしい。やるであろう。 ・多額の協賛広告と、Tシャツ販売など継続性を考慮している。 ・来場者数や売上高がわからないのでコメントしにくいですが、広告料や収益で継続は可能と思われる。 ・今後は収益も出るような事業を組み立てていくと持続性は見込める。アマチュアの団体などは広告宣伝できるチャンスになると思うので参加費も考えられる。 <p>(4) 団体の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食関係者で構成されており、運営もしっかりしている。 ・委員会がしっかりと動いているので信頼性は十分にある。 <p>(5) 事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民も満足していると思う。 ・ダンスやショーなどのイベントがあり、飲食もできる場所を提供することは、「おんまく」を盛り上げる効果がある。「おんまく」以外でも開催できれば、今治市の活性化につながる。 ・今治の団体が参加することで、各団体の個性が楽しめ今治の魅力を発信するいい機会になり、継続性がある。
	<p>(6) 全体評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活性化のためには、当該「呼び水」としての効果は大きく、こういった取り組みは大事。組織の維持が重要である。 ・音楽、ダンスとキッチンカーなどたくさんコンテンツを集めてお祭り当日にふさわしい素晴らしいイベントを実施された。今後も持続性を持たせたイベント運営をすることでますます活性化してほしいと願う。 ・報告書の写真からも、事業の成功が感じ取れた。猛暑の中での開催ということで、熱中症対策が重要なポイントとなる。この点を踏まえて、次回からはより多くのスポンサーを募るなど、しっかりとした予算を立て、今治市民が楽しめる継続イベントにしてほしいと願っている。 ・「おんまく」という多くの人出のある中で、飲食スペースを提供するという事は意味のあることである。今後開催する際には、まつり振興会との協議を十分に重ねて、事故のないように開催してもらいたい。 ・シャッター街になった今治商店街が昔のような賑わいを取り戻すために、「おんまく」開催日に合わせ28店もの出店があり、おおいに賑やかであったろう様子がうかがえる。このような催しを定期的に毎年開催できればと願う。今後も続けていけるように頑張ってもらいたい。期待している。 ・出店者の多くがプロの方だと思われる。こういったイベントを通じて利益を出すのは賛成だが、出店者にも開催趣旨に賛同していただき、今後の町中の活性化に繋がる連携ができるとよりよい活動になるのではないかと願う。 ・回を重ねるごとに良いものになっていくと感じられ、今治の夏が楽しみと感じてもらえるようなイベントになると思う。企画側が続けられるような収益性のある企画も期待する。